療育教室から発信

はっぴい新聞

児童発達支援　放課後等デイサービス

エイビイシイ ひまわり教室
社会福祉法人杉の子会

1月号
2024 vol.46

児童発達支援

巨大サーキット

平均台は床の上に置く事もありますが、今回は踏み台を並べ、その上に平均台を置きました。高さが増す為、バランス感覚を更に身に付ける事ができます。フラフープを並べた「ケンパ」では、体感が安定して正しい姿勢を保つ時間が長くなったり、転倒しにくくなるという効果が期待できます。お子さんの発達状態に合わせて「グーパー」を取り入れる事もあります。「的当て」は、３種類の穴があり、得点も書いてあります。数字が大きくなるにつれて穴が小さくなっています。的当ては、静止視力で捉えたものに対し、体を合わせて動かす「目と体の協応」を鍛える事ができます。軸足(利き足の反対の足)を前に出し、体を捻るようにして投げるのがポイントです。「ボルダリング」では、壁に登る為の最適な手足の位置を見つけたり、全身の筋肉や体感が鍛えられる他、集中力や忍耐力が養われ、成功体験を積み重ねて自信がつくようになります。折り返し地点では向きを変えて下りるように促しておりますが、まだ難しいお子さんへは指導員の補助の下で行っております。最後に「鉄棒」では「ぶら下がり」を行いました。腕や握力の力が鍛えられ、背筋が伸びて姿勢が良くなる事が期待されます。ぶら下がりの他、腕を伸ばして腕の力で体を支える「つばめ」や、両足を鉄棒にかけてぶら下がる「こうもり」も取り入れております。さらに、鉄棒が好きなお子さんのリクエストで、両足で鉄棒を挟み込む「豚の丸焼き」や「逆上がり」等にも挑戦しています。

リトミック・バランスディスクでボールバウンドパス

リトミックでは、主に「（ゆっくり）歩く・走る・止まる」を取り入れています。今回はピアノの音に合わせて線の上を進み、音が止まると、指導員が提示した色のカードを見て同じ色のミニクッションの上に立ちました。その他、お子さんの発達状態に合わせて「その場で止まる・ジャンプ・しゃがむ」「椅子座り」「指導員が持っているひらがなや形のカードと同じ物を探して取る」等、音が止まった時の動作を多く取り入れております。また、動物の曲を弾き、その動物になりきる「動物リトミック」も取り入れる事があります。リトミックは、リズム感覚や運動能力の向上に加え、反射神経を使う為、集中力を鍛える事ができます。ピアノの他に、鉄筋や太鼓等の楽器を使用する事もあります。リトミックは、音が鳴る事もあり、楽しみながら取り組む事ができます。

バランスディスクでボールバウンドパスでは、バランスディスクの上に立ち、指導員と向かい合わせになり、ボールを中央に置いているフラフープの中に入るようにバウンドしながら投げました。今回は個別支援で取り入れましたが、小集団支援で取り入れる際は、他児と向かい合わせになって行います。強すぎず、弱すぎずとボールを投げる時の力加減も重要になり、思考力が身に付きます。また、バランスディスクに乗りながら行う事で、バランス感覚も鍛える事ができます。お子さんの発達状態に合わせて、向かい合わせの距離を縮めたり離したり、ボールの大きさも変えています。また、「○○先生、いくよ」「○○ちゃん・くん、いくよ」と名前を言ってからボールを投げるように伝えています。相手に意識を向けて投げる事ができるようにする為です。その他、フラフープを上からぶら下げ、的当てのようにして投げたり、フラフープを使用せずに行うボールパスも取り入れております。

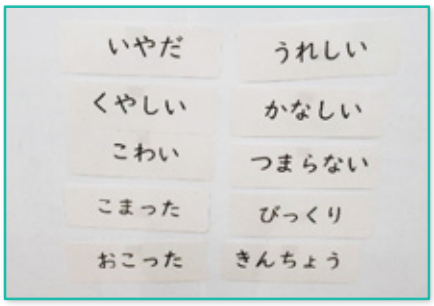
Instagram　You Tube

https://abc24.jp

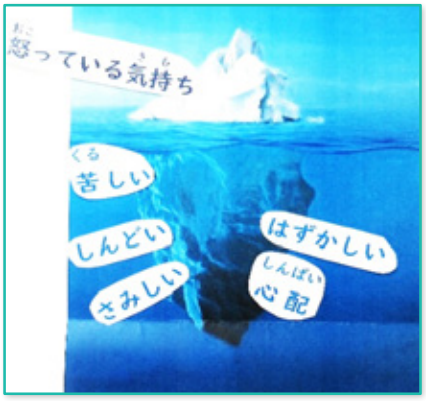
放課後等デイサービス

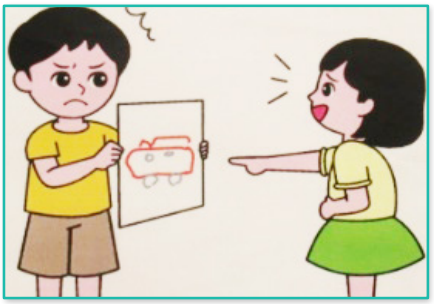
SST

11月は「気持ちの理解とリフレッシュ方法」について学びました。



表情カードと気持ちカードとをマッチングさせながら、みんなでお互いの認識を共有しました。そして、それらの気持ちはどのような場面のときに起きるかを話し合いました。いろいろな場面のイラストの登場人物に吹き出しを付けて考える課題では、感情移入をしてその人物になりきっての発表もありました。





「怒った気持ち」について右の絵を用いた際、男の子の怒りの対象は指を差している「相手」だけではなく、絵が下手という「自分」に対してだという意見も出ました。怒りの気持ちの対象は自分の中にもあるという発見でした。

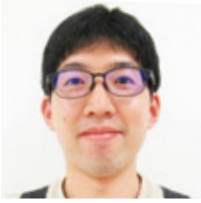
また、怒っている気持ちを氷山の一角と見立て、その水面下にある複数の複雑な気持ち（さびしい・悲しい・心配・体がシンドい…）についても話し合いました。お母さんはどうして宿題をやりなさ～い！と怒るのでしょう?と質問すると「大きくなってもこれができないままだと心配だから！」との即答がありました。

自由遊び

自由遊びは週のテーマ活動と同様に大切です。１人遊びは、集中したり粘り強く進めたりしながら、達成感や楽しい経験が積み重ねられていきます。また、好きなことをしてリラックスする時間とすることも大事です。相手のある遊びでは、関りの中で相手の気持ちを察する感性や自分の気持ちを表現する力、声をかける方法、協調・協力する力や情緒や創造性等々、様々な大切なものが自然な形で育てられていきます。始めは言葉少なに対戦遊びをしていた二人に少しずつ会話が増えたり、お互いにマイルールを主調する遊び方から、ルールを守り合うことが結局は楽しいということに気が付くようになっていく様子を見ると嬉しく思います。

遊びは生きる力の土台つくりです。様子を見ながら促したり中に入って代弁するなどして、一人一人が主体的に遊び、楽しい経験の中で上のような様々な大切なものが育まれていけるよう今年も努めて参ります。

子育てハート便



公認心理師　金井

新年あけましておめでとうございます。放課後等デイサービス担当の金井と申します。

先月で息子が1歳6か月になりました。前歯が生え揃い、歩けるようになり、はっきりと好き嫌いを主張することが増えました。うまく言葉が出ない分、まだ指差しや「あ！」と言って意思を伝えようとすることが多いですが、徐々に個性が表れてきたなぁと感慨深いです。

さて、ひまわり教室で支援を行う際、お子様の強みに注目しています。能力の高さだけでなく、好きで夢中になれることがあるのも強みと言えます。やりたいことがあれば、そこへ向かって多少の困難があっても頑張ることができます。

何に興味があり、どんなことに夢中になっているのか、ちょっとした時間をみつけてお子様たちからお話を聞かせてもらっています。今年もお子様一人ひとりと向き合いながら、よりよい支援を目指してまいります。

WISC-Ⅳ
知能検査
療育支援や学校での過ごし方の参考に

対象：5歳～16歳11ヶ月
料金：5,000円
公認心理師：金井